

第3回湖西市部活動地域連携・地域移行推進協議会 概要

- 1 日 時 令和6年3月14日(木) 19時00分～20時30分
- 2 場 所 市民活動センター 2階大会議室
- 3 出席者 委員11名(学識経験者2名、保護者代表2名、地域代表5名、校長2名)
事務局7名(教育次長、文化観光課長、スポーツ生涯学習課長、学校教育課長、学校教育課職員3名)
傍聴者6名
- 4 協議内容

令和5年に2回実施した協議会内容を振り返り、中学部活動を地域に移行していく中でどんな課題があるのか3つのグループに分かれて意見交換を行った。

以下の内容は、決定事項ではなく協議会で話し合われた主な意見。

<Aグループ「文化部の地域移行に関わる課題について」>

- ・湖西市の音楽部活動は、「吹奏楽」と「管弦楽」があるので、指導者の確保が課題ではないか。
- ・休日に校舎を開放して練習するためには、管理上の問題がある。また、楽器の運搬も大きな課題である。市内で活動している団体と連携することができるのであれば、課題解決に役立つかもしれない。
- ・活動していくとなると予算の確保も課題である。

<B・Cグループ「運動部の地域移行に関わる課題について」>

- ・できる種目から土日休日の部活動を地域での活動に移行し、モデルケースとして検証した上で、課題を明確にして次の種目へと拡大していくことが現実的な進め方だと感じる。
- ・指導者の確保には、報酬の保障が必要。その保障がないと持続的な指導者の確保が難しい。
- ・中体連が、この先、どうなっていくのかが不透明。中体連の今後が決まってから、市の方針を決めていくとなると、方針策定までかなりの時間を要することが予想される。
- ・指導者によって技術の指導方法が異なる。平日は部活で学校の教員が、休日は地域の指導者となると、子どもたちが混乱してしまわないかが心配である。
- ・地域の指導者と連携して進めていくのであれば、指導者は指導に専念し、会計などの事務的なことは、別の人員または組織が行うような体制を構築しないとスムーズな地域移行は進まないのではないか。
- ・「競技力向上を目指す子ども」「体を動かす習慣を目的とする子ども」など様々なニーズに対応していくことが重要ではないか。
- ・平日の部活動地域連携のための「部活動指導員」の募集について、どうしたら指導員が集まるのか協議していく必要がある。
- ・部活動指導に関わることができる教員もある一定数いる。部活動の地域移行を進めていく中で、指導者として関わることができるよう配慮が必要ではないか。